

滝沢研二さん（95期）がトムソン・ロイター「第4回リサーチフロントアワード」を受賞

高見沢一彦（69期）

トムソン・ロイター（本社：米国ニューヨーク、日本オフィス：東京都港区）は、早稲田大学の滝沢研二さん（95期）に「第4回リサーチフロントアワード」を授与することを発表しました。

同賞は、今後飛躍的に発展することが期待される先端研究領域とその領域で世界的に活躍する日本の研究機関所属の研究者を紹介することを目的として設定された賞です。本年は12,188の先端研究領域（リサーチフロント）から日本の研究者の影響度が高いと認められるフロント8つが選ばれ、その領域において顕著な功績をあげている12名の日本の研究機関所属の研究者が選出されました。滝沢研二さんは、工学／流体力学のモデリング分野での研究成果と今後の更なる発展の可能性が高く評価されての受賞となりました。

滝沢研二さんは、空気や液体の流動の様子を、周囲の物体との相互作用も考慮した上でコンピュータ上に再現する研究を進めています。具体的には、宇宙船で使用するパラシュートの解析や血管と血流の相互作用を再現することで、血流により血管壁にどのような力が加わっているか等の解析において様々な成果を上げています。

また、滝沢研二さんは、2010年度から2期にわたって実施されている科学技術振興機構(JST)の戦略的創造研究推進事業 CREST に主要メンバーとして参加しています。そのプロジェクトの研究代表者である岡山大学の水藤寛さんも本学卒業生（78期）で、数理学と臨床医学の連携によって医療の高度化に貢献する分野で活躍しています。



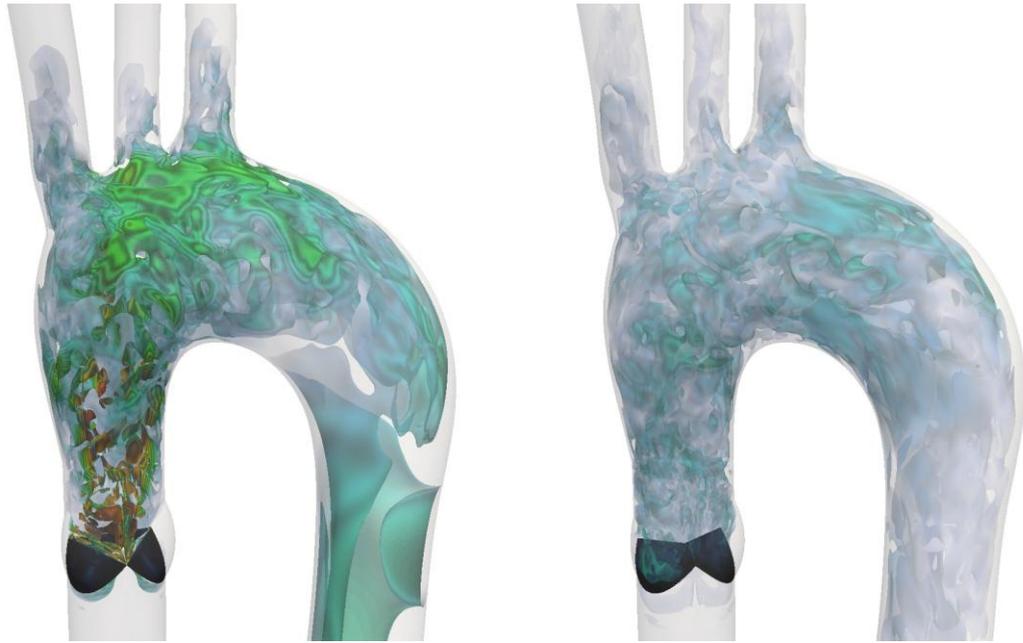
トムソン・ロイターの発表

<http://ip-science.thomsonreuters.jp/press/release/2016/rf2016/>

関連リンク

<http://www.jp.tafsm.org/>

<http://www.ems.okayama-u.ac.jp/suito/CREST/>



大動脈血管部の流れの解析
(血液が渦を巻いている箇所に色づけ：赤い箇所の速度が速く、緑、青と遅くなる)



流体構造連成解析を行っている NASA Orion 宇宙船のパラシュート

【補足説明（御参考）】

●戦略的創造研究推進事業 CREST について

戦略的創造研究推進事業は、日本が直面する重要な課題の達成に向けた基礎研究を推進し、社会的・経済的な価値を生み出す創造的な新技術を創出することを目的とした事業です。国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実際の事業運営を担当しています。CREST は、この事業のもとで運営されている研究支援プログラムの1つで、複数の研究者が連携して実施するチーム型の研究を支援しています。

●水藤 寛さん、滝沢研二さんが参加する CREST 研究

2010～2015 年度：

「放射線医学と数理科学の協働による高度臨床診断の実現」（研究代表者：水藤 寛）

2015～2020 年度：

「臨床医療における数理モデリングの新たな展開」（研究代表者：水藤 寛）

レポートしています高見沢（69 期）は、科学技術振興機構（JST）の CREST 事業において、上記の研究の他、数学と諸分野の協働に関連する研究チームの支援を担当しています。